

山梨大学 留学生 センターニュース

no.2
2006
APR

留学生センターの さらなる充実に向かって

山梨大学理事（副学長） 黒 沢 幸 昭



本学に留学生センターが設置されて、3年が経とうとしていますが、現在、山梨大学には23カ国・地域、177名の外国人留学生在が学んでいます。10年前の留学生数と比較するならば、飛躍的な数の増加と言えるでしょう。留学生センターは、こうした事態に対応するために3年前に設置されたのです。

留学生センターは、日本語教育と生活および修学上の指導・支援、また日本人学生の海外派遣のための指導・支援にも取り組んでいます。大学としては、2005年度には留学生センターの教育施設の改善、専任教員の2名の増員などの対応をしました。留学生センターのさらなる充実、山梨大学の今後の発展にとってかけがえのない取り組みの一つであると考えているからです。

全学の期待に応える取り組みが、今までに増してなされることが求められています。

具体的には、留学生の日本語能力、日本文化理解力の向上のための、さらなる工夫が求められています。この件ではきめ細かな指導体制の改善がすでに実行されていることを確認しております。日本人学生の派遣の問題にも同様のことが言えます。

また各学部、大学院が受け入れている外国人留学生に対する生活および修学上の指導・支援は、専任増に伴ってさらなる充実が求められています。センター一丸でのさらなる充実を図ることも求められています。この件でもきめ細かな指導体制の改善がすでに実行されていると確認しております。

こうした改善は、より豊かな異文化間コミュニケーションを築きあげていくことになり、本大学のスローガンである「世界の人材」を育成するための基盤をより確かなものにしていくことになります。

教学の責任者としての現況報告のような文章になってしまいましたが、留学生の皆さん、留学生センターは皆さんとのコミュニケーションを何よりも大切にします。どうぞご要望がありましたならば、お寄せください。

新任教員

2005年9月に留学生センターに着任した講師です。



伊藤 孝恵
(いとうたかえ)
相談・交流・支援部門担当
〔講師〕 甲府キャンパス
総合研究棟305

江崎 哲也
(えさきてつや)
日本語・日本事情教育部門担当
〔講師〕 甲府キャンパス
総合研究棟210



留学生センターの案内

留学生センターは、須貝千里センター長ほか、専任教員5名で構成されています。

第一部門 日本語・日本事情教育部門

学部留学生対象日本語・日本事情コース

学部留学生を対象とする授業です。この授業は、テストによってクラス分けをします。これまで「初級」、「初中級」、「中級」の3レベルでしたが、2006年度から新たに「中上級」、「上級」クラスが開講されます。また、日本の文化や社会などについての理解・知識を深めるための「日本事情」クラスや「異文化間コミュニケーション」クラスも開講しています。

日本語補講

本学に在籍する日本語が十分でない外国人留学生や研究生を対象とし、補講として初級レベル及び上級レベルの日本語のクラスを開講しています。2006年度は5月8日から開講します。（4月28日までに申し込むこと。甲府地区は3コマ、玉穂地区は4コマ開講）

担 当：長谷川千秋 hchiaki@yamanashi.ac.jp 055-220-8173
江崎 哲也 esakit@yamanashi.ac.jp 055-220-8752

第二部門 相談・交流・支援部門

指導相談担当教官による留学生に対する修学・生活面での指導、助言を行っています。様々な相談に応じるため、オフィスアワーを実施しています。国際交流室スタッフと連携して日常生活で生じる些細な問題にも対応する他、心の悩みの相談には保健管理センタースタッフとの面談も行っています。また留学生に関しての指導教官の相談にも対応しています。さらに本学の日本人学生に対して、交流協定校等への短期留学の相談も行っています。

担 当：（玉穂）高田谷久美子 kumikot@yamanashi.ac.jp 055-273-8289
（甲府）伊藤 孝恵 takaei@yamanashi.ac.jp 055-220-8753

第三部門 大学院入学前予備教育部門

日本語研修コース I・II

大学院進学を目的とする国費研究留学生のための、主として日本語の予備教育を行っています。日本語は初級レベル（研修コースI）、初級終了レベル（研修コースII）の集中授業を6ヶ月間行います。

◎この部門の対象者でない学生であっても、プレイスメントテストの結果によっては研修コースI・IIを受講することができます。その際、指導教官の同意と留学生センターの許可が必要です。
なお、人数制限がありますのでご注意ください。

担 当：奥村 圭子 kokumura@yamanashi.ac.jp 055-220-8152

相談・交流・支援部門の取り組み

第二部門（相談・交流・支援部門）はこれまでよりさらに活動の幅を広げております。今回その一端をご紹介します。

留学生相談室の設置

これまでも各教員のオフィス・アワーや、授業前後に相談を受け付けておりましたが、留学生相談室が新たに設置されました。留学生の皆さんの日本での生活・学業をはじめ、諸々の相談に応じています。

留学生の皆さんにとって、異文化である日本での学業・生活には、慣れないことや戸惑うこと、人間関係の悩みなど、母国とは異なることがあるでしょう。そのような問題は、身近な先生や友人に打ち明け、手助けしてもらうことも大切ですが、それができない時は、一人で抱え込まず、気軽に訪ねて来てくださいね。

ランチ会

毎週火曜の昼休みに、留学生、日本人学生、教員と一緒に昼ご飯を食べながら、様々な話題について話す、小規模ながらも異文化交流ができるという企画。毎回多くの学生が集まり、うれしい悲鳴をあげています。

2006年度も行いますので、みなさんまた来てください。日時、場所等、詳しくは学内掲示板で確認してください。

話そう会

ランチ会とは異なり、少し規模が大きな異文化交流体験。留学生と日本人学生が参加します。毎回20人程度の参加者があります。1～2か月に1度、開いています。

テーマはあらかじめ決まっていますが、その話題について話すことでお互いの考えを知り、理解を深めることにつながっていると思います。ぜひ、参加してみてくださいね。詳しくは学内掲示板で…。

話そう会のアンケートから

新しい人が増えた。

今まで3年間の学生生活で、一度も留学生と接したことがなかったので、とても嬉しかった。

各国の人の意見が聞けてよかった。



留学生関連の諸行事

たべもの異文化交流会 (2005/8/18)

医学部の位置する玉穂キャンパスで、留学生と地域との交流活動を積極的に推進し、交流を通じて地域社会における異文化への理解を深めることを目的とし、7年前より毎年8月中旬に「たべもの異文化交流会」が開かれています。2005年度は8月18日に本学玉穂国際交流会館で行われ、留学生が母国の伝統的な料理を用意する一方で、地域住民や地域のボランティア団体は日本の家庭料理を披露しました。その後、200名の参加者は一体となって、留学生による各国の伝統楽器の演奏や盆踊りを楽しみました。



実地見学旅行 (2005/9/16)

2005年9月16日、留学生のための実地見学旅行が行われました。朝、山梨を出発しバスで一路愛知へ。『愛・地球博 (2005年日本国際博覧会)』を見学し、日本の文化・産業に対する見聞を広めるだけでなく、世界各地の文化に対しても理解を深めました。約80名の留学生が参加し、留学生相互の交流をもはかることができました。



餅つき大会 (2005/11/5)

2005年11月5日、地域住民との交流を目的に、梨甲祭 (大学祭) のイベントの一つとして餅つき大会を行いました。地域の「餅つきの達人」指導の下、留学生が臼と杵で餅つきをし、餡こやきな粉などをつけて味わいました。餅つきを通して交流の場をもつことにより、地域住民と留学生の交流のきっかけになったことと思います。



学長主催留学生懇親会 (2005/11/25)

2005年11月25日、貫井学長主催の留学生懇親会が学生会館ラウンジで行われ、留学生、教員、県の国際交流関係者などの来賓の方々、約170名が参加しました。学長の留学生交流の意義と更なる充実を語る開会挨拶の後、県の関係者をはじめ、諸団体の挨拶があり、その後、懇親の会となりました。

留学生による挨拶、出し物などが続き、教員がダンスの中心に引っ張り出される一幕も。会は大いに盛り上がり、国際交流、留学生交流を深める夕べとなりました。



第2回 やまなし 大学スピーチコンテスト (2006/1/14)

山梨県各地の大学、短大で学ぶ留学生が日本語でスピーチを行う、「第2回 やまなし 大学スピーチコンテスト」が山梨大学赤レンガ館コミュニティーホールにおいて行われました。「新年のすごしかた」をテーマにした約7分のスピーチ。16人の留学生がそれぞれ趣向を凝らし、写真やイラストを交えて日ごろの成果を発表しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず約90名の聴衆が集まり、留学生のスピーチにも一段と力がこもっていたように思います。内容も新年のすごしかたの紹介にとどまらず、自国との比較、細かな心の動きや主張を取り入れたものが目立ちました。

また、スピーチ大会の後に新たな試みとして「ポスターセッション」も行われ、それに引き続き懇親会が催されました。

厳正な審査の結果、第1位に本学大学院の宋静さん、第3位に本学の劉譔さん、第4位に本学の李慧敏さんが選ばれました。

なお、この企画の運営は本学荒川恒子教授指導の下、教育人間科学部の芸術運営コースの学生が当たりました。学生達の献身的な取り組みの上にこの企画が実現したこともまた素晴らしいことであり、このような取り組みが積み重ねられることにより今後ますます山梨県の留学生交流が盛んになっていくものと思われます。



日本語研修コース I・II (2005年度) 修了式

前期日本語研修コース（6ヶ月の集中授業のコース）修了式は8月2日、後期は2月17日に行われました。修了生は各自で選んだテーマに基づき、15分程度のプレゼンテーションを行い、その後修了証書が授与されました。いずれの研修生もこのプレゼンテーションには2～3ヶ月の準備をしていただけあって、十分に成果を出し切っていました。

〔 2005年前期修了生 〕



コース	氏 名	国 籍
I	HAJI TARIP ANITASARTINI	ブルネイ
I	NAIMI EBADULLAH NAIMI	アフガニスタン
I	SURJAN AKHILESH KUMAR	インド
I	ANTHONY CHASE KNIGHT	アメリカ

〔 2005年後期修了生 〕



コース	氏 名	国 籍
I	SIRINAT SRIONNUAL	タイ
I	喬 瑞敏	中国
I	HUGO STEY	フランス
I	BEATRICE CHAILLEUX	フランス
I	ROBERT LINDNER	ドイツ
I	TOBIAS PARTZSCH	ドイツ
II	NOH SEUNG-TAK	大韓民国
II	HAJI TARIP ANITASARTINI	ブルネイ

2006年前期 授業予定

学部留学生向けに、新たに「中上級」、「上級」クラスが開講されます。

2006年度(平成18年度) 前期 日本語関連授業時間割					
	月	火	水	木	金
I 8:45～ 10:15		日本事情 I (伊藤)			
II 10:30～ 12:00	初中級 I A (奥村) 中級 I A (長谷川)	研修 I (奥村) OH (伊藤)	研修 I (江崎) OH (伊藤)	研修 I (伊藤)	研修 I (江崎)
III 13:00～ 14:30	研修 I (奥村)	研修 I (江崎) OH (長谷川)	研修 I (奥村) OH (江崎)	研修 I (伊藤)	中級 I B (伊藤) 研修 I (江崎)
IV 14:45～ 16:15	研修 I (奥村)	研修 I (江崎) OH (高田谷)		研修 I (伊藤)	研修 I (江崎) OH (伊藤)
V 16:30～ 18:00	OH (奥村)	異文化 A (奥村) 上級 I (長谷川)	中上級 I (奥村) 初中級 I B (江崎)		
		甲府・補講 (岡部) 甲府・補講 (井上)			
VI 18:15～ 19:45		甲府・補講 (井上)			玉穂・補講 (二宮) 18:00～19:30
VI 以降	玉穂・補講 (高田谷) 19:00～20:30	玉穂・補講 (二宮) 19:30～21:00			玉穂・補講 (二宮) 19:30～21:00

※OH : Office Hour

4月以降の予定

- 4月 3日 (月) 10:00～12:00 オリエンテーション
13:00～14:00 プレゼンテーション・テスト 場所: Y11 (Y1-1)
- 4月11日 (火) 13:00～ 日本語研修コース (大学院入学前予備教育) 開講式
- 4月12日 (水) 前期授業 (予備教育) 開始
- 4月14日 (金) 前期授業 (学部向け) 開始
- 5月 8日 (月) 日本語補講開始。受講希望者は国際交流室に
4月28日までに申し込むこと。

発行 2006年4月1日

山梨大学留学生センター

〒400-8510 甲府市武田4-4-37

TEL 055-220-8047/8373

FAX 055-220-8374

MAIL yu-study-abroad@yamanashi.ac.jp

H P <http://www.akjim.yamanashi.ac.jp/isc/>